

# 公益社団法人 日本給食サービス協会会長賞

『大好き！岩小カレー』

千葉県野田市立岩木小学校 五年 田中 風翔

月の終わりに来月の給食のこんだて表が配られる。ぼくはすぐにあのメニューを表の中から探す。ない、ない、ない、あつた。ぼくの心は最高に幸せな気持ちになる。そのメニューとはカレーだ。しかもぼくの学校のカレーには、岩小カレーという学校の名前がついている。この岩小カレーという文字を見つけたその時から、ぼくのカレーのカウンタダウンが始まるのだ。

岩小カレーはぼくの学校でダントツで人気のメニューだ。クラスみんな、学校のみんな、先生たちも全員が大好きだと思う。もう卒業してしまつたぼくのお兄ちゃんも、いまだに岩小カレーの話をするし、ぼくのお母さんも岩小カレーの話になると、なつかしように昔を思い出している。ぼくのお母さんはぼくと同じ学校出身で、このカレーの味は今でもわすれられないらしい。当時は岩小カレーという名前はついていなかったそうだが、きつとこのおいしさは何十年たつても変わっていないだろう。お母さんも食べていたこの味を、今はぼくが食べている。この味の伝統を受けつぎ、いつもおいしいカレーを作ってくれる給食の調理員さんたちには感謝の気持ちでいっぱいだ。

なぜ調理員さんたちはこんなにおいしい給食を作れるのだろう。カレーはもちろん、他にもおいしくて大好きなメニューがたくさんある。実はぼくは低学年の時は給食がとても苦手だった。きらいな物や食べた事のない物がたくさんあつて、口に入れるのもいやだった。だから毎月のこんだて表さえ見るのがいやだった。けれど、ぼくが給食が好きになつたきつかけはやはりこの岩小カレーなのだ。

岩小カレーは一年生の時から大好きなメニューであつたのに変わりはない。大好きだからこそもっと食べたたくておかわりがしたかつた。でもカレーと一緒に出されている他のメニューがどうしても食べられない。おかわりは全部食べた人からという決まりもあり、大好きなカレーがおかわりできなかつた。けれどやっぱりおかわりがしたい気持ちがおさえきれなくなり、がんばつて苦手なメニューを口に入れた。あれっ意外とおいしい。そう思うと同時に、どうして今まで食べようとしなかつたのかとこうかいし、作つてくれた調理員さんに申し訳ない気持ちになつた。

食べてみたらおいしかつたというメニューは他にもたくさんあり、さばのみそにもししゃも野菜のたくさん入つた具だくさんスープも、苦手なメニューから今やぼくの大好きメニューに変わった。こうして岩小カレーが食べたいがためにがんばつた一口から、ぼくは給食が大好きになつたのだ。

調理員さんいつもおいしい給食をありがとう。これからも感謝の気持ちをわすれずに、残さず給食をいただきたいと思う。